



フージャース、48%増益

今期経常 低価格物件が好調

マンション開発のフージャースコーポレーションは二十四日、二〇〇四年三月期の連結経常利益が前期比四八%増（前期は単独決算）の十二億円

になる見通しと発表した。従来予想を一億五千万円上回る。首都圏郊外で展開する低価格物件の販売好調が寄与する。売上高は九%増の百二

十五億五千万円。販売戸数は五百六十三を見込むが、六月末の契約は四百十三と年間計画の七三%に達した。千葉県や埼玉県の二千万円台前半の低

価格帯の家族向けマンションが好調で、今期中に引き渡しを予定する物件のうち一棟が完売。三千万円台前半の物件も堅調に推移する見込み。

運営費の大きいモデルルームの早期閉鎖が可能になり、営業原価を圧縮。仕入れコストも低減し、粗利益率は二・五%上昇しそう。広告宣伝費も抑制でき販管費も期初計画から千万円程度伸びを抑える。純利益は三二%増の六億三千万円と予想を八千万円上回る。

